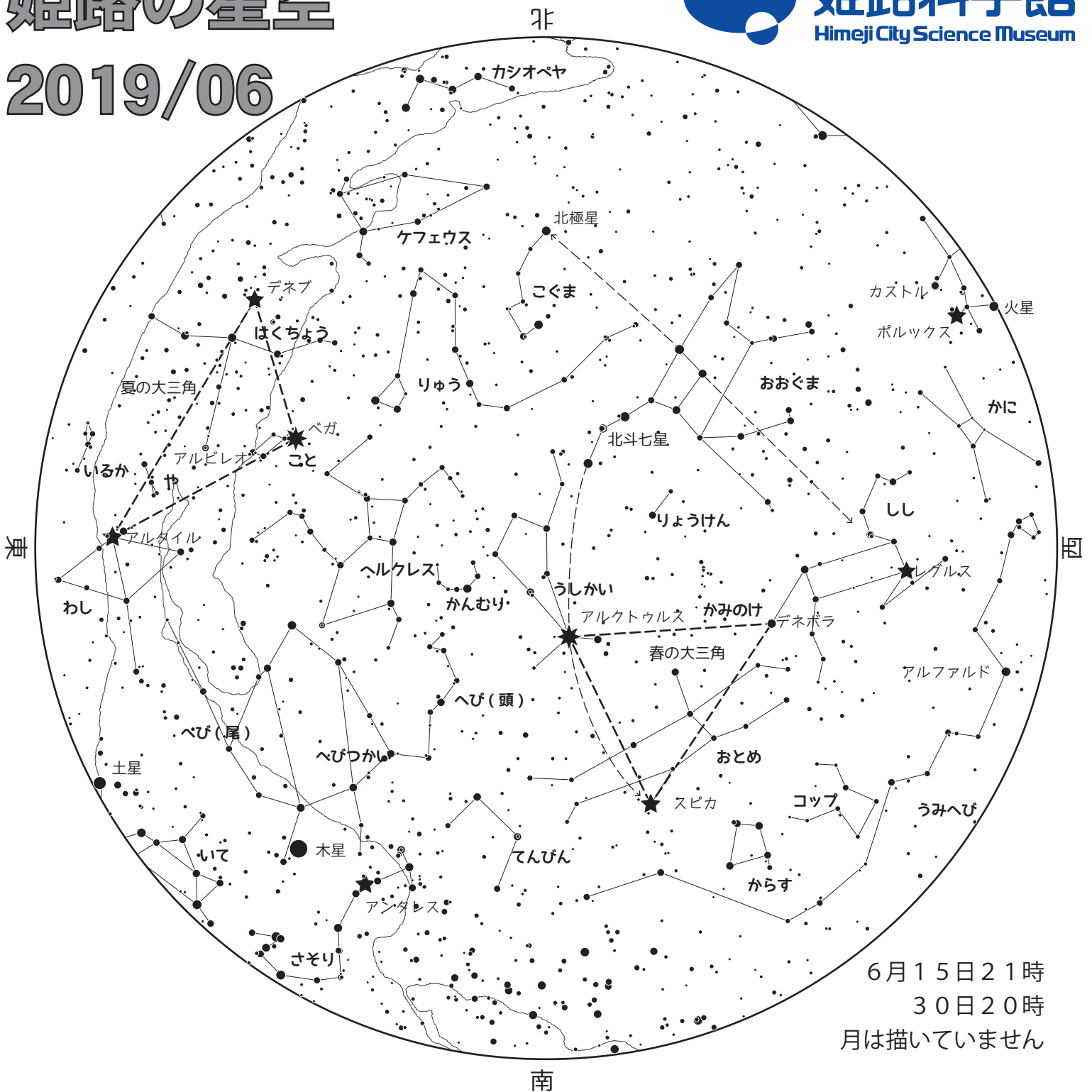


# 姫路の星空

## 2019/06



6月15日21時  
30日20時  
月は描いていません

雨の季節を迎えています。西の空には春の星、東の空には夏の星が見えるようになりました。北西の空高く、ひしゃくの形の七つ星、北斗七星が見えます。**おおぐま座**のお尻としっぽの星たちです。ひしゃくの器の星からは北極星やしし座が見つかります。しし座の胸に輝くのはレグルスで、「小さな王様」という意味です。しし座のしっぽの星はデネボラ（尾）です。北斗七星の曲がった星の並びをそのままのばすと春の大曲線です。南の空高くに、**うしかい座**のアルクトウルスと**おとめ座**のスピカが見つかります。農業の女神が持つ麦の穂先の星で、「とがったもの」という意味です。アルクトウルス、スピカ、デネボラを結ぶと春の大三角になります。

東から北東にかけて、夏の大三角が見えます。3つの1等星は、こと座のベガ（織姫星）、わし座のアルタイル（牽牛、彦星）、白鳥座のデネブです。南東の空には木星が明るく目立ち、その右側にはさそり座の全体が見えるようになりました。オレンジ色の1等星はアンタレスです。夜遅くなると、土星も見やすくなります。